



第六次塩尻市総合計画 長期戦略について

企画政策部企画課
令和4年12月23日

第六次総合計画の策定方針と長期戦略の位置づけ

■第六次総合計画策定方針

性格・内容

“重点を明示した戦略計画”であった五次総を継承しながら、長期または短期といった時間的射程とともに、**目指す姿や課題を示し**、行政の経営資源等を「何に」優先的に投入して「いかに」取り組むかを明確にした**“未来への投資を示す”計画**とする。

計画期間

社会経済の変化のスピードに対応する「1期3年間、全体で9年間」

視点・考え方

- 未来に向けた投資的な戦略なのか、喫緊の課題への対応かを明確化するため、資金だけでなく活動・時間も含めた未来投資について、時間的射程を「**長期・短期**」の観点で示す。
- **ありたい姿からのバックキャスト**により、地域として目指す意思を表現するとともに、手段だけではなく、現状とのギャップを「課題」という形で示す。
- 行政資源だけに限らない市民や企業をはじめ関係人口等との**協働・共創によって体系化**するとともに、具体的な事業を立案・実行し、それぞれの自律性を伸長する。
- 市域という単位だけでなく、松本平などの生活圏等の**広域的な視点**、小学校区などの**小地域**、**世代等による違い**のように、多層的・多様な現状を確認し、立案・実行する。
- **地域ブランド**を市民等との共創により磨き上げ、より良い社会・ライフスタイルの実現を目指す。

■長期戦略の位置付け

今後20～30年の社会変化を見据えた上で、次の9年間で市民等とともに**目指す都市像**及びその実現に向けて、**優先的に取り組むべき分野**や、その**ありたい姿**を定めた、市政の基調となるもの

構成と改定のポイント

■ 第六次総合計画の構成及び内容のイメージ

| | | | | | | |
|-----------|---|--|---|---|---------------------------|--|
| 総合計画 | 未来投資計画 | 長期戦略 9年 理由を説明 重点投資の 中期戦略 3年 | 総合計画の概要 | 策定方針 計画の構成 進行管理 | | |
| | | | 目指す都市像 | 本市を取り巻く環境の変化 2050年の世界 30年後にも”選ばれる地域”であり続けるために 目指す都市像 | | |
| | | | <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 持続可能性 の要素強化 </div> | 基本戦略 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的視点・・・広域エリアでの ポジション ・ 小地域視点・・・地域共生・ 支え合い戦略 ・ 地域ブランド・・・ブランド アイデンティティ |
| | | | 都市像の実現に向けた 行政経営の考え方 | 行政の使命・業務領域 | B | |
| | | | 中期戦略の概要 | 位置づけ・構成 SDGsとの関係 | C | |
| | | | プロジェクトの概要 | プロジェクトの全体像 成果指標 | | |
| | | | 全市戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ありたい姿」ベースのプロジェクト名・施策名 ・ 「ロジックモデル」に基づく施策・事業構成と数値目標 ・ 「ありたい姿」と現状とのギャップを記述 ・ 抽象的な表現だけで終わらない「生の意見」の掲載 | 1 2 * | 子どもを産み育てる環境が整い、親子と周囲が笑顔になっている 学力と生きる力を高める教育が、子どもの成長を加速させている <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 広域的視点／小地域的視点でも検討する </div> ヤーとして活躍している |
| | | | 施策体系、 もしくは 事業部戦略 | ※施策体系一覧を作成する場合、ごく簡易なものを想定 ※事業部戦略は、全施策・事業を事業部単位で管理するもので現在も運用されている | | |
| | | | 計画 | | | |
| | | | <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 投資のスパンを 明示 </div> | | | |
| 施策 1-1 | 出産・子育てのサポートの体制の充実し、 親の不安感と負担感を抑えている (1) 保健・医療が充実し、安心感のある妊娠・ 出産・産後を迎えられる (2) 地域で子育てをサポートする体制が整い、 顔の見える支援がある | 短期集中 長期継続 | | | | |

取り巻く環境の変化 ～2050年の世界・日本・塩尻市～

わが国は、史上類を見ない人口減少・高齢化時代に突入しています。先行き不透明な時代であるからこそ、**将来の仮説**を立て、変化に機敏に対応していくことが重要です。

※下線が第五次総合計画からの追加・変化

○2050年の「世界」：人口増だが減少国も増加 デジタル経済圏が台頭

- 人口・約80億人（2020年）から約100億人（2050年）へ。
 - ・インド、アフリカでの人口増が顕著。
 - 一方、減少国も増加
- 環境・異常気象、人口増により、食糧・水、エネルギーが不足
- ・CO2を抑制する技術、ライフスタイル、ビジネスが進展
- 経済・米国・中国・インドが経済の中心も、覇権国になりきれない
- ・世界がインターネットでつながり、デジタル経済圏が台頭
- 技術・企業による革新技術の影響が拡大し、新たな緊張や分断が発生



○2050年の「日本」：人口減・労働力減の中で、 技術革新と社会経済構造の変革が進む

- 人口・約1億2630万人（2020年）から約1億人（2050年）へ
- ・高齢者の増加幅は落ち着く一方、生産年齢人口が急速に減少
- ・地方の中核都市への人口シェアが拡大する
- 経済・デジタル化の進展により、グローバル企業の進出が増加
- ・国内企業の優位性を発揮できない日本企業は淘汰される
- ・成長する世界市場へ参入する企業は世界市場で成長
- ・国内では深刻な労働力不足。AI・ロボ・外国人が補完
- 社会・健康寿命のさらなる延伸で人生100年時代に
- ・社会保障費や医療費の増大に対応するための増税も見込まれる
- ・自治体や学校の統合、広域でのサービス提供など管理単位やサービス枠組みが再編



世界人口推計2019版
国連広報センター

未来社会構想2050
三菱総研

○2050年の「塩尻市」：全国水準の人口減。 人口確保と内外の繋がり強化が地域持続性の鍵に

- 人口・約6万7千人（2020年）から約5万8千人（2050年）へ
- ・北小野・檜川地区では人口が約半数に減少
- ・広丘・高出・吉田地区でも人口減少。高齢化率がピーク
- 経済・社会
- ・田園回帰傾向が加速。地方中核都市での人口獲得競争が激化
- ・脱炭素・デジタル・グローバル化に対応した活動と
- ・高い国内シェア、地域シェアを確保できた企業が生き残る
- ・自治体サービスの統合・広域化が進行。行政DXも定着
- ・多死社会となり地域の資産・資源が地域社会から消失、負債化



本市の強みや特徴

人口減少時代にあっても、塩尻市という地域が「選ばれる地域」であり続けるために、**本市のポテンシャル（潜在力）**に磨きをかけ活用し、**リスク（不安要素）**を克服するとともに、明確な都市像と戦略を打ち出し、内外の多様な主体と連携して、その実現を目指していきます。

※下線が第五次総合計画からの追加・変化

塩尻市のポテンシャル(潜在力)

【地勢】

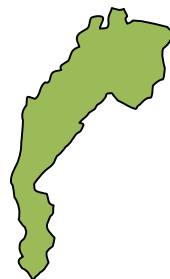
- ・美しく豊かな自然環境
(森林・分水嶺・高ボッチ高原・農地等)
- ・大都市圏への交通結節点

【住みやすさ】

- ・職住農山が近接した生活環境
- ・恵まれた子育て・教育環境
- ・天災の比較的少ない自然環境

【地域資源】

- ・分厚い生産年齢人口、健康長寿
- ・歴史資源（平出遺跡、奈良井宿、街道、重伝建等）
- ・自然由来資源（レタス、ぶどう・ワイン、漆器、木材）
- ・生活文化（食・年中行事・コミュニティー活動）
- ・知的資本の集積と交流
(ICT系の企業・施設・人材、
えんぱーく、えんてらす、スナバ等)
- ・革新を目指す行政
(産官学連携、働き方改革、挑戦マインド)
- ・豊かな松本広域圏との補完関係
(特に高等教育、医療、レジャーが補完)



塩尻市のリスク(不安要素)

【災害】

- ・地震による都市機能の喪失
- ・異常気象の頻発化・激甚化

【地域経済】

- ・大企業への依存による同時全体的低迷
- ・若年者など働き手の還流・就労の縮小

【土地・集落】

- ・後継者不足による農地山林の荒廃
- ・農山村既存集落の縮小

【生活文化】

- ・伝統や生活文化、
地域での支えあいの弱体化・消失

【社会インフラ】

- ・老朽化による、事故、維持管理費の増大
- ・公共交通の需要増と再構築

【財政】

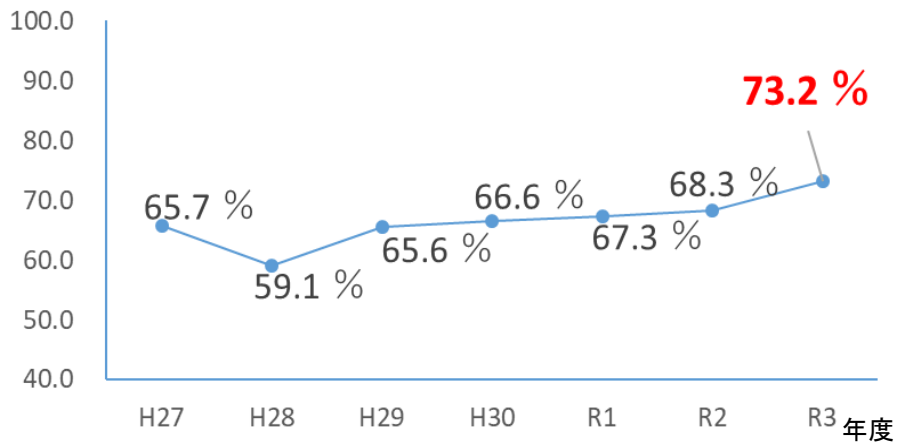
- ・税収減と義務的経費の増加による財政の硬直化や悪化

時代のニーズに応えるべく、
地域の**ポテンシャル（潜在力）**を生かし、**リスク（不安要素）**を克服することで、
内外の多様な主体とともに「選ばれる地域」をつくる

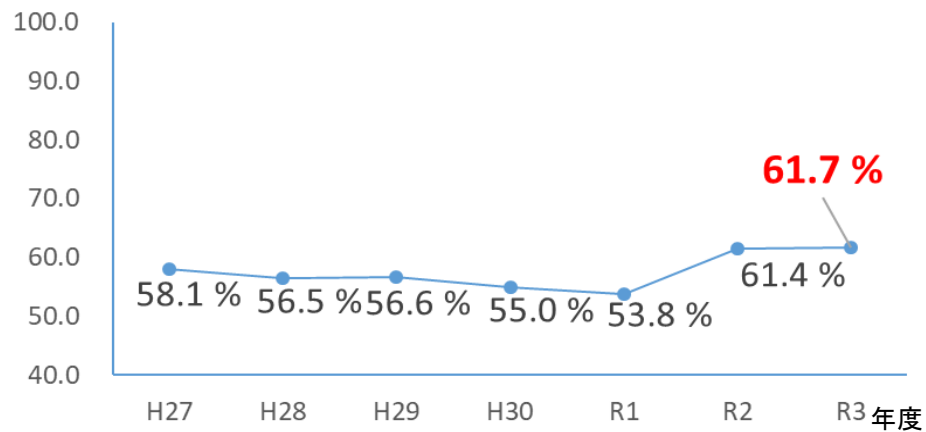
市民意識の変化

毎年実施している市民意識調査では、**第五次総合計画で重点化した分野や総合的評価において緩やかに上昇、市民が実感するレベル**となって現れてきている。

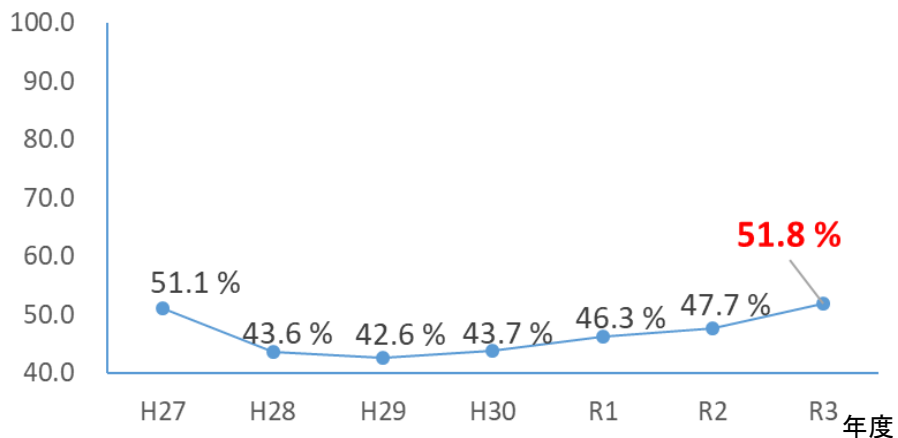
塩尻市での暮らしの満足度



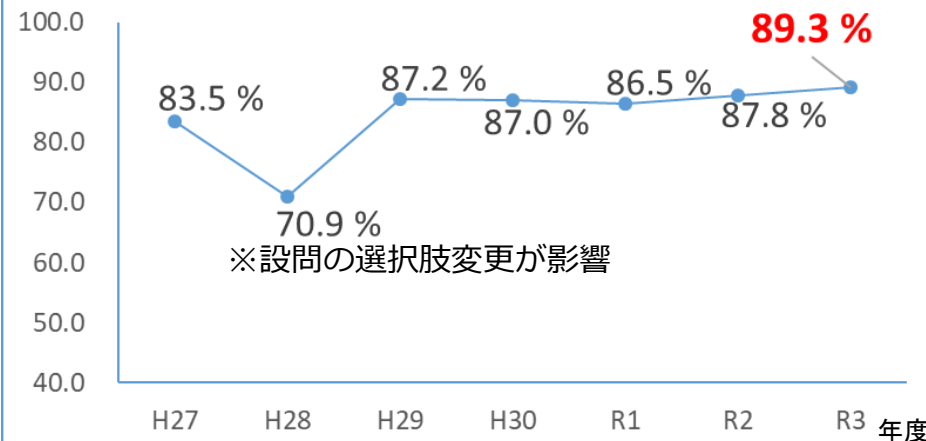
「子育てしやすいまち」であると思う市民の割合



塩尻市を他地域に誇れると感じる市民の割合



塩尻市に住み続けたいと思う市民の割合

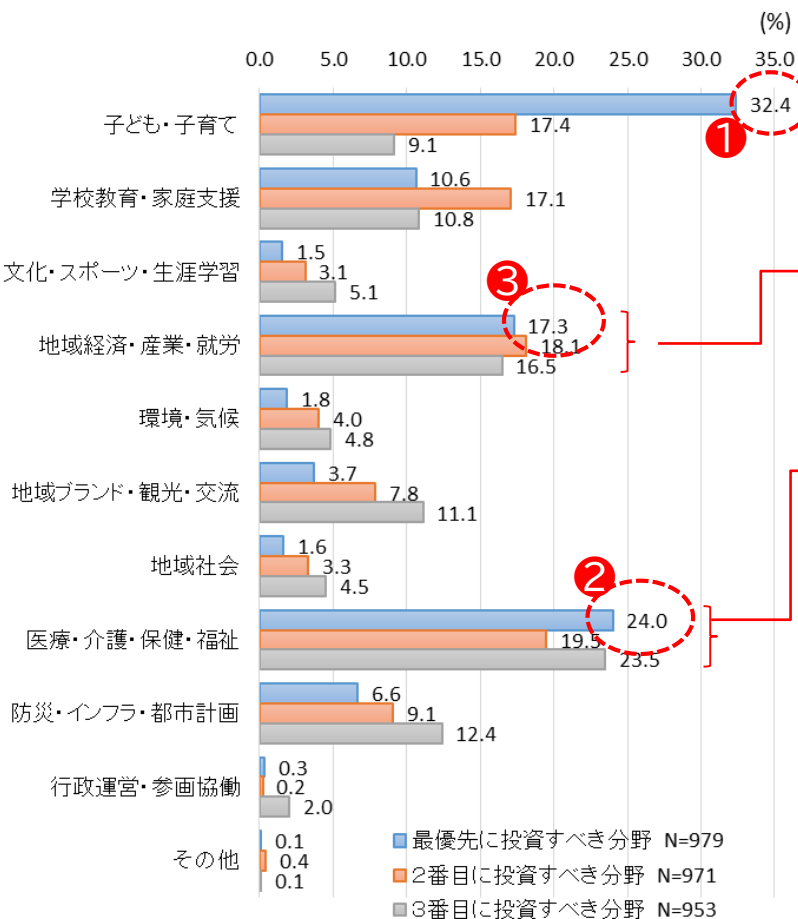


出典：塩尻市 市民意識調査

市民アンケート結果分析から（1）

■投資すべきまちづくりの分野

<最優先/2番目/3番目 比較>



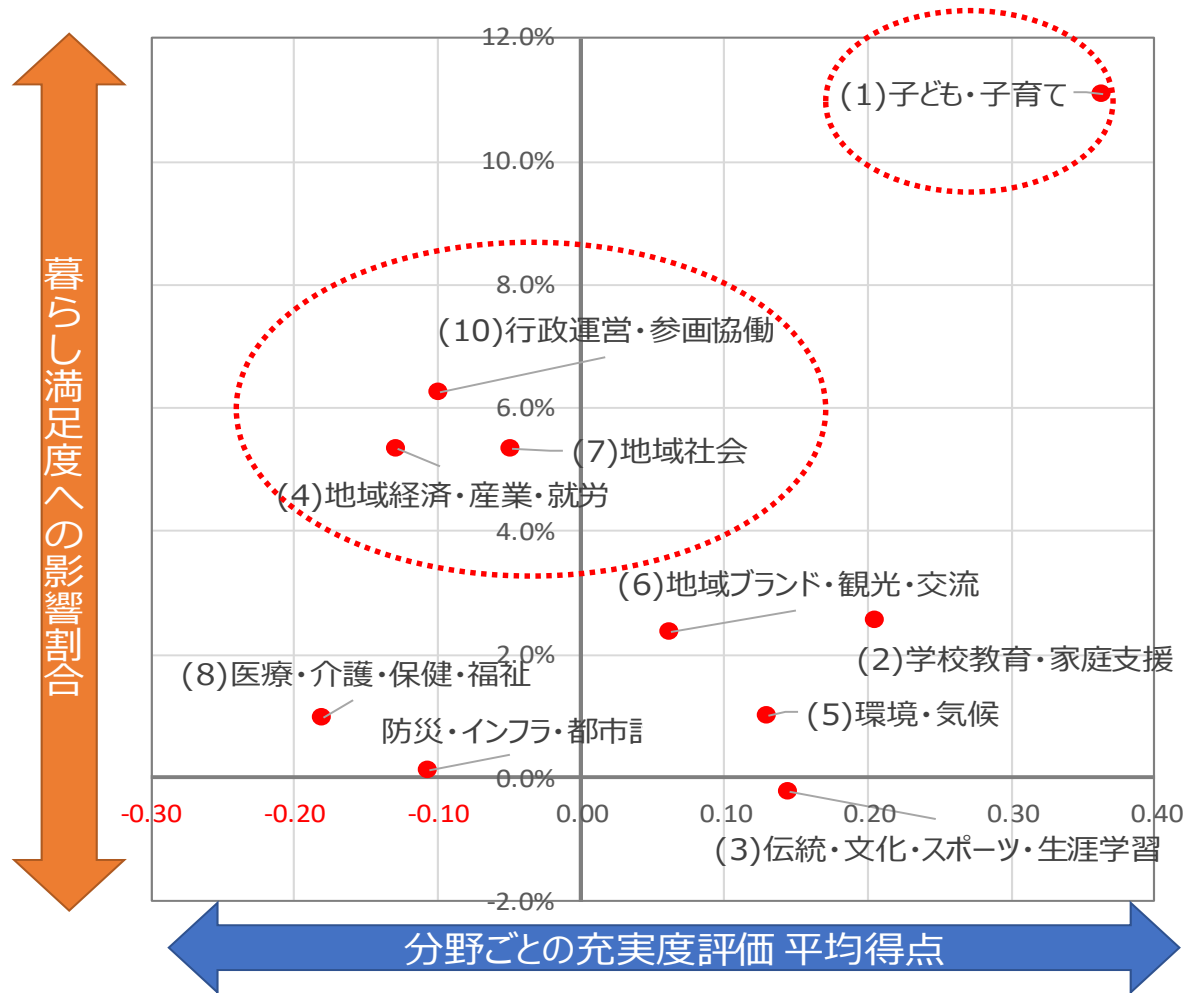
<最優先～3番目の合計回答数>

| 分野 | 度数(件) | 割合(%) ※人数ベース | 割合(%) ※件数ベース |
|-----------------|-------|-----------------|-----------------|
| 子ども・子育て | 573 | 58.5 | 19.7 |
| 学校教育・家庭支援 | 373 | 38.1 | 12.8 |
| 伝統・文化・スポーツ・生涯学習 | 94 | 9.6 | 3.2 |
| 地域経済・産業・就労 | 502 | 51.3 | 17.3 |
| 環境・気候 | 103 | 10.5 | 3.5 |
| 地域ブランド・観光・交流 | 218 | 22.3 | 7.5 |
| 地域社会 | 91 | 9.3 | 3.1 |
| 医療・介護・保健・福祉 | 648 | 66.2 | 22.3 |
| 防災・インフラ・都市計画 | 271 | 27.7 | 9.3 |
| 行政運営・参画協働 | 24 | 2.5 | 0.8 |
| その他 | 6 | 0.6 | 0.2 |
| 合計(回答人数) | 979 | | |
| 合計(回答件数) | 2,903 | | |

- 最優先投資分野は32.4%の市民が「子ども・子育て」をあげている方が最も多い。次いで、「医療・介護・保健・福祉」「地域経済・産業・就労」の順に多い
- 最優先分野から3番目までを合計すると、「医療・介護・保健・福祉」が最も多くなる。次いで、「子ども・子育て」「地域経済・産業・就労」の順に多い

市民アンケート結果分析から（2）

暮らし満足度に対する分野別の影響度



- 暮らしの満足度に対するまちづくり分野ごとの充実度評価の影響度合いをみるための重回帰分析
- 縦軸は暮らし満足度への影響度(寄与率)、横軸は各分野の充実度の平均得点を示している。
- 暮らし満足度に大きな影響を与えると考えられるのが、「子ども・子育て」「行政運営・参画協働」「地域経済・産業就労」「地域社会」の4分野の充実度であった。
- 中でも「子ども・子育て」分野は、現状の充実度評価が最も高く、また暮らし満足度にも大きな影響を与えている重要な政策分野であると言える。

※充実度は、充実している=2点、やや充実している=1点、どちらともいえない=0点、あまり充実していない=-1点、充実していない=-2点として得点化
 ※満足度は、満足している=2点、どちらかといえば満足している=1点、どちらともいえない=0点、どちらかといえば不満である=-1点、不満である=-2点として得点化
 ※1分野でも欠損値、わからないがあるケースは除外したため、まちづくり分野別の充実度評価全体の平均得点とは一致しない

「市長と語ろう！タウンミーティング(10/13～11/4)」から

■質疑・要望等件数 (@各地区会場 合計599名参加、うち会場411名、オンライン188名)

- **公園整備、道路整備**といった⑨防災・インフラ・都市計画分野や、時代変化に合わせた**地域づくり**など⑦地域社会分野、**不登校対策・教育振興**など②学校教育・家庭支援分野で、直近の課題として**質疑・要望が多かった**。
- また市街地外では、**公共交通**や**空き家対策・住宅整備**などの**質疑・要望が多かった**。

【高出】

| 項目 | 件数 |
|--------|----|
| 公園整備 | 2 |
| 地域づくり | 6 |
| 子育て支援 | 1 |
| 障がい者支援 | 2 |
| 介護支援 | 1 |
| 市民との対話 | 2 |
| 合計 | 14 |

【洗馬】※市街地外

| 項目 | 件数 |
|---------|----|
| 住宅整備 | 1 |
| 農業振興 | 2 |
| 結婚支援 | 1 |
| 人口減少対策 | 1 |
| 空き家対策 | 1 |
| 観光振興 | 1 |
| スポーツ振興 | 1 |
| ため池整備 | 1 |
| 木質バイオマス | 1 |
| 土地利用 | 1 |
| 森林整備 | 1 |
| 合計 | 12 |

【宗賀】※市街地外

| 項目 | 件数 |
|---------|----|
| 産婦人科誘致 | 1 |
| 公共交通 | 2 |
| 野球場整備 | 1 |
| 地域づくり | 1 |
| 農業振興 | 3 |
| 現場主義 | 1 |
| 平出博物館整備 | 1 |
| 医療推進 | 1 |
| 職員育成 | 1 |
| 市の情報発信 | 1 |
| 合計 | 13 |

【北小野】※市街地外

| 項目 | 件数 |
|--------|----|
| チロル再整備 | 3 |
| 道路整備 | 1 |
| 現場主義 | 2 |
| 教育振興 | 1 |
| 地域づくり | 1 |
| 有害鳥獣対策 | 1 |
| 空き家対策 | 1 |
| 職員育成 | 1 |
| 合計 | 11 |

【檜川】※市街地外

| 項目 | 件数 |
|-----------|----|
| 公園整備 | 1 |
| 医療推進 | 2 |
| 河川整備 | 1 |
| 再生可能エネルギー | 1 |
| 民生児童委員確保 | 1 |
| 道路整備 | 1 |
| 地域づくり | 1 |
| 空き家対策 | 1 |
| 遊休資産活用 | 1 |
| 合計 | 10 |

【合計】

| 項目 | 件数 | 項目 | 件数 |
|-----------|----|----------|-----|
| 公園整備 | 10 | 人口減少対策 | 1 |
| DX推進 | 3 | 森林整備 | 1 |
| eスポーツ推進 | 1 | スポーツ振興 | 1 |
| 空き家対策 | 4 | 太陽光発電対策 | 2 |
| 医療推進 | 3 | ため池整備 | 1 |
| 介護支援 | 1 | 地域づくり | 12 |
| 河川整備 | 4 | チロル再整備 | 3 |
| 観光振興 | 2 | 道路整備 | 14 |
| 危機管理 | 1 | 土地利用 | 2 |
| 教育振興 | 8 | 農業振興 | 8 |
| 景観整備 | 2 | 博物館整備 | 1 |
| 結婚支援 | 2 | ハロウィン | 1 |
| 現場主義 | 3 | 平出博物館整備 | 1 |
| 公共交通 | 5 | 福祉施設整備 | 1 |
| 公共施設整備 | 1 | ペット火葬対策 | 1 |
| 高齢者支援 | 1 | 防犯カメラ設置 | 1 |
| 国葬対応 | 1 | ミスワイン | 1 |
| 子育て支援 | 1 | 民生児童委員確保 | 3 |
| ごみ袋統一化 | 1 | 木質バイオマス | 2 |
| 財政 | 3 | 野球場整備 | 1 |
| 再生可能エネルギー | 2 | 有害鳥獣対策 | 1 |
| 産業振興 | 1 | 遊休資産活用 | 2 |
| 産婦人科誘致 | 2 | 合計 | 136 |
| 自然博物館整備 | 1 | | |
| 市の情報発信 | 2 | | |
| 市民との対話 | 2 | | |
| 住宅整備 | 1 | | |
| 障がい者支援 | 2 | | |
| 商店街活性化 | 2 | | |
| 職員育成 | 3 | | |

【片丘】※市街地外

| 項目 | 件数 |
|---------|----|
| 公園整備 | 4 |
| 財政 | 1 |
| 地域づくり | 1 |
| 農業振興 | 3 |
| 公共施設整備 | 1 |
| 遊休資産活用 | 1 |
| 公共交通 | 3 |
| 道路整備 | 3 |
| 空き家対策 | 1 |
| 教育振興 | 1 |
| ペット火葬対策 | 1 |
| ごみ袋統一化 | 1 |
| 高齢者支援 | 1 |
| 合計 | 22 |

【吉田】

| 項目 | 件数 |
|-----------|----|
| 公園整備 | 1 |
| 市の情報発信 | 1 |
| DX推進 | 2 |
| 結婚支援 | 1 |
| eスポーツ推進 | 1 |
| 防犯カメラ設置 | 1 |
| 産業振興 | 1 |
| 道路整備 | 1 |
| 教育振興 | 1 |
| 再生可能エネルギー | 1 |
| 産婦人科誘致 | 1 |
| 福祉施設整備 | 1 |
| 合計 | 13 |

【大門】

| 項目 | 件数 |
|----------|----|
| 教育振興 | 3 |
| 自然博物館整備 | 1 |
| 商店街活性化 | 2 |
| 職員育成 | 1 |
| 地域づくり | 1 |
| 景観整備 | 1 |
| 民生児童委員確保 | 1 |
| DX推進 | 1 |
| ハロウィン | 1 |
| ミスワイン | 1 |
| 財政 | 1 |
| 木質バイオマス | 1 |
| 合計 | 15 |

【広丘】

| 項目 | 件数 |
|-------|----|
| 道路整備 | 5 |
| 土地利用 | 1 |
| 教育振興 | 2 |
| 観光振興 | 1 |
| 地域づくり | 1 |
| 国葬対応 | 1 |
| 合計 | 11 |

【塩尻東】※市街地外

| 項目 | 件数 |
|----------|----|
| 道路整備 | 3 |
| 太陽光発電対策 | 2 |
| 危機管理 | 1 |
| 景観整備 | 1 |
| 公園整備 | 2 |
| 財政 | 1 |
| 民生児童委員確保 | 1 |
| 河川整備 | 3 |
| 博物館整備 | 1 |
| 合計 | 15 |

合計 136

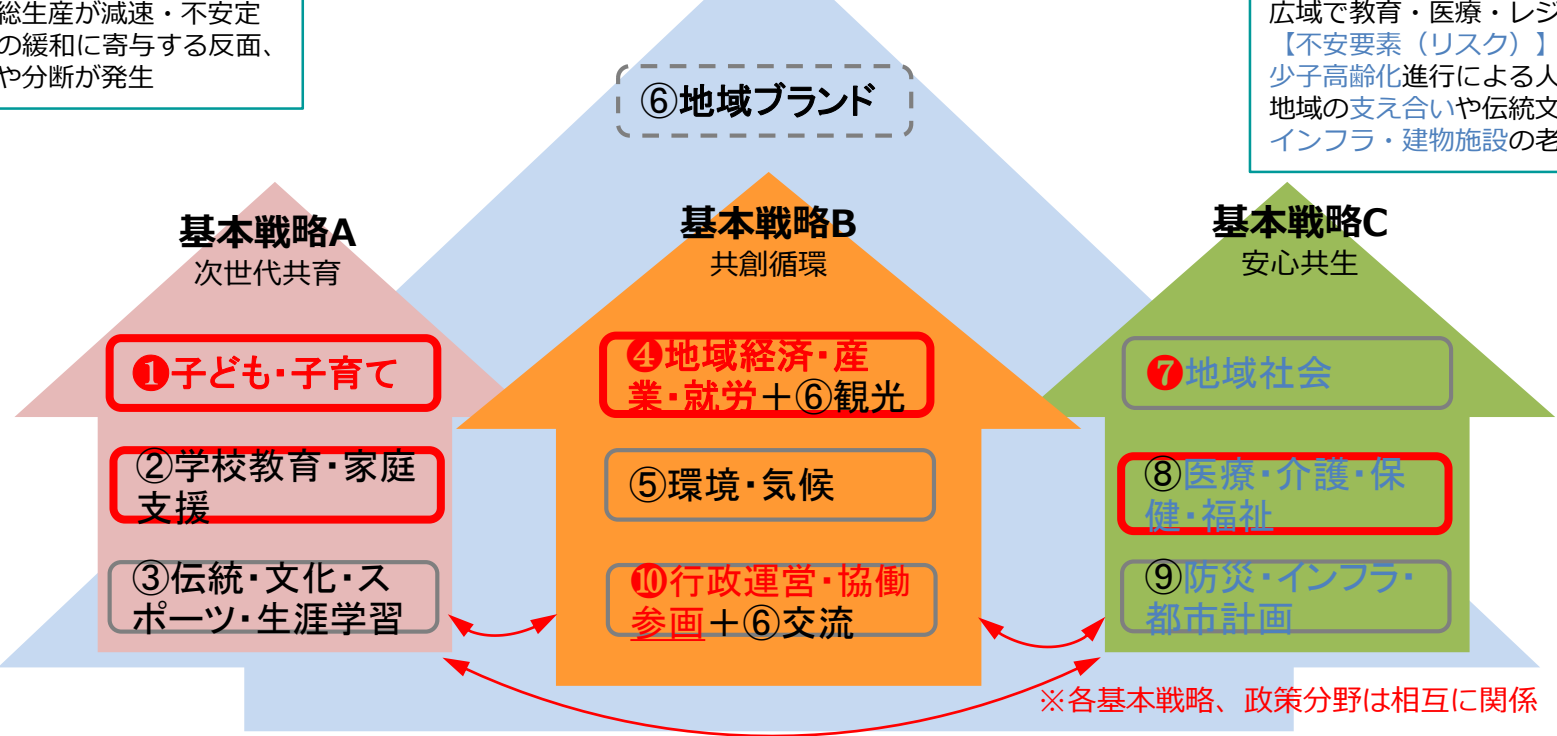
長期戦略体系(案) (都市像・基本戦略・政策の構成イメージ)

- 市民アンケートにおいて、優先して投資すべき分野として意見の多かった①②④⑧ (赤太枠)、また暮らしの満足度への影響が大きい①④⑦⑩を軸として基本戦略を構成する。
- 基本戦略Aは、潜在力ある①子ども・子育てを補強しながら、次世代と共に成長することへ投資する。
- 基本戦略Bは、潜在力ある⑩行政運営・協働参画を活用しながら、共創と循環へ投資する。
- 基本戦略Cは、⑧医療・介護・保健・福祉や⑦地域社会等の不安克服のため、安心と共生へ投資する。
- ⑥地域ブランドは都市像とリンクさせ、基本戦略・政策 (①～⑩) より上位概念に位置づける (⑥解体)。

取り巻く環境(世界・日本)
 【人口】増/減地域の変化と、高齢化
 【環境】異常気象増加で食料、水、エネルギー、健康でリスクが上昇
 【経済】人口増鈍化・減少、パンデミック等で総生産が減速・不安定
 【技術】課題の緩和に寄与する反面、新たに緊張や分断が発生

目指す都市像
 指標: 総人口、暮らし満足度

市の潜在力と不安要素
 【潜在力 (ポテンシャル)】
 住みやすい生活環境や子育て環境
 農林業や工業の確かな産業・就労
 革新目指す行政との共創基盤
 広域で教育・医療・レジャーが補完
 【不安要素 (リスク)】
 少子高齢化進行による人材の不足
 地域の支え合いや伝統文化の減退
 インフラ・建物施設の老朽化



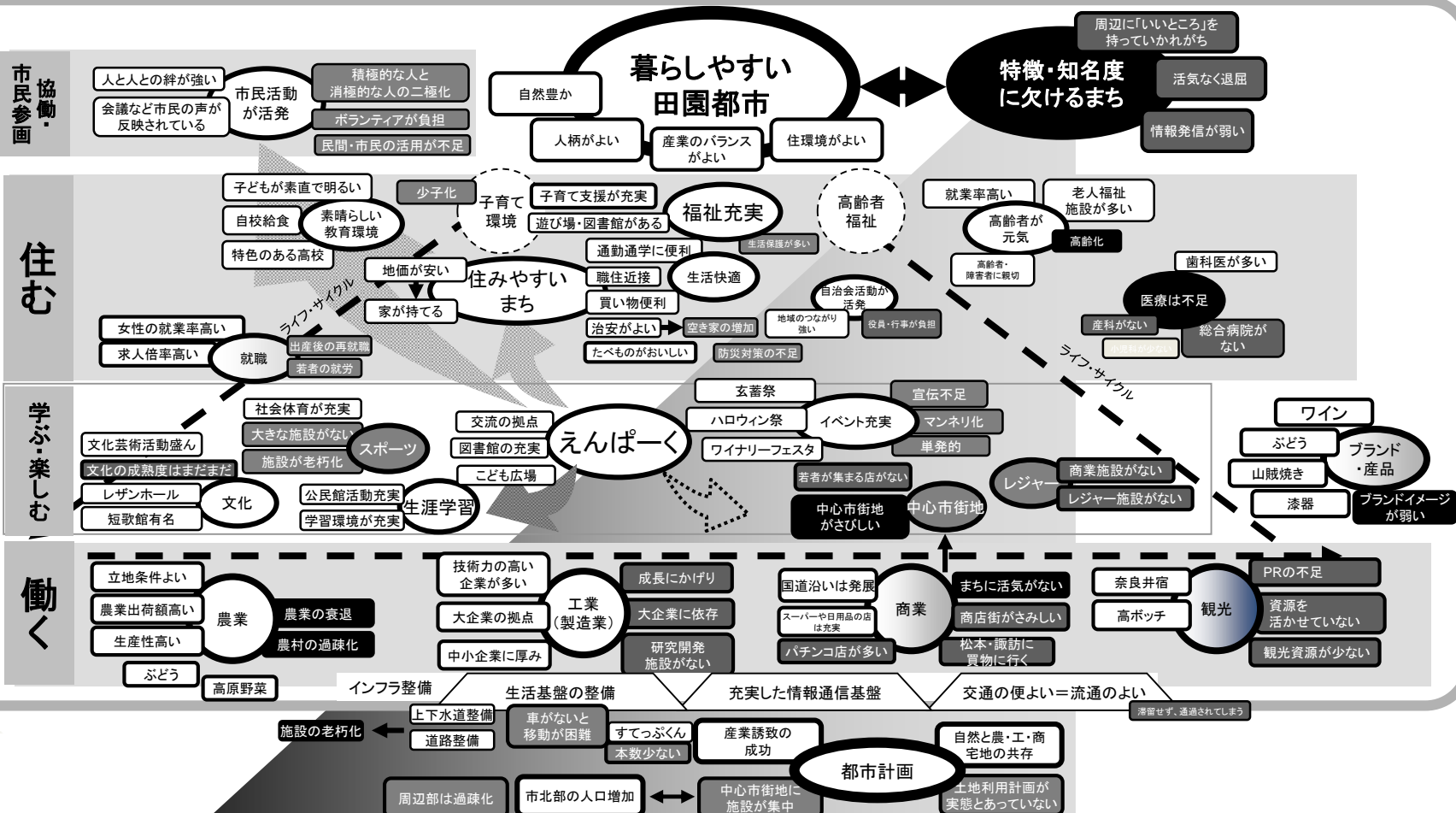
※各基本戦略、政策分野は相互に関係

【参考】 意見の地図2013

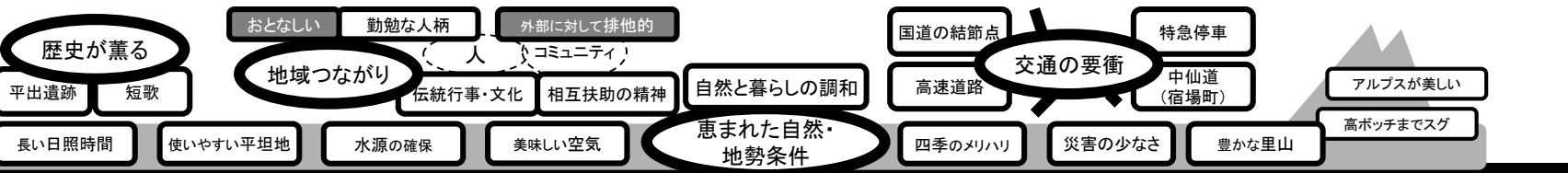
第五次総合計画策定のために今年も市民や市役所職員からのアンケートをもとに意見の地図をつくりました。塩尻市はどんなまちといえるのでしょうか。

- 白 市の強み、よい特徴
- 黒 市の弱み、改善すべき特徴
- 灰 人によって評価が異なるなど決定的な弱みではないが、改善の余地があるもの

現状



前提



【参考】 意見の地図2003

意見の地図2003は10年前に第四次総合計画を策定するとき、ワークショップ形式で行った審議会で作られた意見や市民アンケートの結果をもとに作られたものです。20年前のみんなの意見がひと目で分かるようになっていきます。

- 白 □ 市の強み、よい特徴
- 黒 □ 市の弱み、改善すべき特徴
- 灰 □ 人によって評価が異なるなど決定的な弱みではないが、改善の余地があるもの

現状

高度成長

前提

